

# Rosario Quarterly Information



# 広報 ロザリオ

## 第132号

社会福祉法人  
 ロザリオの聖母会  
 千葉県旭市野中4017  
 Tel (0479) 60-0600  
 ホームページアドレス  
<http://www.rosario.jp>  
 Eメールアドレス  
[honbu@rosario.jp](mailto:honbu@rosario.jp)

高萩福祉センター玄関正面の壁に  
 「聖ヨセフと幼子イエス」のレリーフを設置しました。  
 制作：師イエズス修道女会 シスター高見安子



聖ヨセフ私たちの家族をお守りください  
 ～レリーフ銘板より～

## 目次

将来から今を見る～事業の再編成について～	2	連載 「司祭の書齋より④」	7
旭市生活保護受給者就労支援事業	3	職員募集のお知らせ	9
佐原聖家族園農作業棟完成	3	平成25年度ロザリオの聖母会	
聖家族園・一泊旅行について	4	苦情受付状況のお知らせ	10
企業支援員事業及び就業支援担当者加配について	4	寄付者御芳名	10
献血のご協力ありがとうございました！	5	フォットギャラリー	12
職員バレーボール大会	5	新任者紹介	13
「ばんやさん」グルメ誌に	6	第25回ロザリオ福祉まつりのお知らせ	14
佐原聖家族園のクッキー	6	行事予定・ボランティア募集のお知らせ	14

## 将来から今を見る ～事業の再編成について～

聖ヨセフつどいの家 所長 杉田明

聖ヨセフつどいの家は、3つの事業（生活介護・児童発達支援・放課後等デイサービス）を合わせて行う多機能型事業所として平成25年7月1日に生まれました。前身である佐原聖家族園つどいの家が重症心身障害児者の通園事業としてスタートし、障害者自立支援法の施行により新しい制度に合わせた形で事業を整えた経緯があります。他の事業所であれば、各事業ごとに定員が定められています

が、当施設の場合は3つの事業を合わせて30名という定員設定となっていました。そして、障害者自立支援法と児童福祉法という2つの法律にまたがる形で制度設計がされていることも大きな特徴でした。このような制度設計は、重症心身障害児者を取り巻く環境の中で、「児者一貫の支援体系の構築が必要である」との考え方が中心にあったと記憶しています。さて、このような経緯でスタートした事業ですが、様々な経営的課題に直面しました。もともと重

症心身障害児者の日中活動の場所は非常に少なく、当施設が果たさなければならぬ役割は非常に重たいものがありました。地域の社会資源として期待に応え、役割を全うすること、利用者やご家族の希望に沿った質の高いサービスを提供するためには、経営基盤を安定させる必要があります。

このような課題を解決するため、施設の利用者の状況や制度の内容、地域の潜在的なニーズを精査した結果、実施事業を絞り込むことと事業別の定員数を明確にすることとなりました。実施事業については、利用希望の多かった放課後等デイサービスをより充実し、長期休業中以外の時期も受け入れを開始することにしました。定員は生活介護を20名、放課後等デイサービスを10名という形で明確化し、それに伴い配置されている職員も事業別に再配置しました。

放課後等デイサービスの充実に伴い、現在利用契約のあるご家族

に利用に関する希望を聞くと、「学校の授業があるときは18時頃に、学校もしくはスクールバスのバス停まで迎えに来て欲しい」との声が寄せられました。これを受けてサービス提供時間を長期休業中とそれ以外で2種類の時間帯に分けることにしました。現在、放課後等デイサービスの登録者は9名いらっしゃいますが、常時利用されている方は4名と

なっています。お迎えのみ送迎サービスを開始し、毎日16時から子供たちの元気な声が聞こえるようになってきました。あと少しで2年目の夏休みを迎えますが、本格的に送迎サービスを開始できるよう準備を進めています。また、活動内容も配置された3名の職員が、利用者さん一人ひとりの様子を見ながら、充実した活動となるよう検討を重ねています。

子供たちが毎日通って元気な声がこだましていた小学校時代のように、たくさん笑い声がこだまする将来をしっかりと見据え、日々直面する課題を正面から受け止め、ご利用される一人ひとりが方が充実した生活を送ることができるように職員一丸となつていきたいと思えます。



## 旭市生活保護受給者就労支援事業

中核地域生活支援センター海匝 ネットワーク 所長 吉野智

中核地域生活支援センター海匝 ネットワークでは、福祉と暮らしの総合相談支援機能を強化する一環として、今年度、旭市より「生活保護受給者就労支援事業」を受託しました。

本事業は、旭市において生活保護を受給されている方の中で、①稼働能力がありながら就労していない方、②病状調査の結果、就労可能と判断された方、③稼働能力の活用が不十分で、転職等により増収が見込める方、を対象としており、この方たちの就労支援が主な業務となります。支援内容としては、市をはじめ関係機関と連携の中で、まずご本人さまの希望や状況を把握し、ハローワークなどで求人情報を探したり、履歴書作成など就労面接の準備をしたりすることをサポートします。そして、実際就労することが出来てもそれを継続することが難しい場合がありますので、安心して仕事を継続できるように就労定着のためのサポートも行います。また、こ

の過程の中で起こりうる不安感などに對して精神面でのサポートも行います。そもそも様々な要因で就労意欲が低下している方も少なくないため、動機づけやきっかけ作りにも工夫が必要となってきました。いずれにしても一朝一夕にはいかない、だからこそ現在は生活保護を受給している訳ですから、私たちとしても根気強く、粘り強くとが重要となります。

本事業における担当の相談員を1名配置しましたが、海匝ネットワーク全体で本事業をバックアップしております。事業を開始してまだ3か月ですが、現在のところ対象者は10人、うち支援を開始している方が4名で就職された方が1名です。

仕事をする喜びや満足感を得て、より自分らしい生活をされる方が増えていけるように。海匝ネットワークとしてさらに努力を続けてまいります。

## 佐原聖家族園農作業棟完成

佐原聖家族園 園長 高木美枝子

佐原聖家族園では現在5つの作業班に分かれて日中の作業・活動を行っていましたが、雨天など悪天候のときには、農耕園芸班と椎茸班は外での作業ができず、生活棟に残り園内清掃をしたり、ドライブなどをして過ごしていました。「雨が降っても作業ができる農作業棟が欲しい」という利用者・職員の長年の思いが叶い、今年3月末に念願の立派な農作業棟が完成しました。



晴れた日は、今までも青空の下、昼のお弁当・休憩時間をはさんで、畑の草取りをしたり、椎茸原木を運んだりと一生懸命作業に取り組んでいましたが、農作業棟の完成により、天候に関わらず日中は生活棟から離れて、作業・活動をして真っ黒になり、夕方また生活棟に帰り、お風呂で汗を流し、夜は

ゆっくりと過ごすと、メリハリのあつた生活が送れるようになりました。



農作業棟の建築にあたり、ご尽力を戴きました木村屋建築設計事務所様、石井工業株式会社様をはじめ、多くの方々にお力添えを戴きましたことを心より感謝申し上げます。

# 聖家族園・一泊旅行について

聖家族園 渡辺彩乃

6月26・27日に、利用者3名、職員3名の計6名で鴨川方面に一泊旅行へ行ってきました。

一泊旅行を実施するためのテーマとして、「夏を先どりして、のんびり過ごす」をテーマ設定しました。夏と言えば、プールだと思っただけ、プールが入れるホテルを選び一泊旅行がスタートしました。

1日目は、ガストで昼食を食べ、その後、宿泊する鴨川ホテル三日月に到着してプールを楽しみました。プールでは、流れるプールや滑り台、屋内・屋外プールを利用者・職員共に楽しむ事ができました。人が少なかつたので貸切状態の感じで2時間楽しめました。

夕食はバイキングで、好きな物を沢山飲食し、その後は全員で露天風呂に入っただのんびり1日の疲れをとりました。

2日目は、ホテルで朝食バイキングを食べてから鴨川シーワールドの方へ向かいました。鴨川シーワールドでは、イルカやシャチ、アシカ、ベルガアのショーを見ま

した。ショーでは、全員が集中して楽しみながら見る事ができました。その後、レストラン内からイルカなどが見れるレストランで昼食をとりました。

昼食後は、お土産を購入して最後にベルガアのショーを見て、帰りに着きました。帰りの車内では、疲れたせいか、ぐったりしている姿も見られましたが、家族園に到着するまで皆さん一睡もしていませんでした。一泊旅行の感想



を言ったり、色々な会話をしながらの車内は明るかったです。利用者の皆さんから、「楽しかった」と言ってもらえて嬉しかったです。

今回、一泊旅行を実行する前、楽しみもあり不安もありました。しかし、旅行が終わってみると、「このメンバーで一泊旅行に行け

て本当に良かった」、「この旅行を終わりにしたくない」と強く思いました。

今回の一泊旅行は、利用者・職員にとっても、有意義な時間を過ごすことができ、また新たに1つ思い出が増えたと思います。本当に、ありがとうございます。

## 企業支援員事業及び就業支援担当者加配について

香取就業センター 副主任 岡澤和則

当センターは平成23年4月に開設して、今年で4年目を迎えました。センターに相談される方も年々増加しています。当初3名のスタッフでスタートしましたが、今年の4月千葉県商工労働部産業人材課より、企業支援員事業を受託することとなりました。企業支援員事業は平成19年度から県内8圏域に支援員が配置され、海匝・香取圏域では東総就業センターに配置されていきました。この事業は

企業への支援を主に、職域（職場）開拓や企業からの相談へのアドバイス等を行い、障害のある方々の職場定着に向けた取り組みを行います。

4月から香取就業センターではその企業支援員を1名配置して、企業への巡回を主に開始しました。また、労働局では全国に200名（200センターに各1名）の就業支援担当者を加配し、主に精神障害のある方や発達障害のある方への（定着）支援を目的に活動することになりました。

その結果、東総・香取就業センター両センターに各1名配置されることになり、香取就業センターでは先の企業支援員と合わせ5名で支援を実施しています。今後地域の皆様からご協力をいただきながら運営していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

# 献血のご協力ありがとうございました！

△日本赤十字社 千葉県赤十字血液センター様より▽

千葉県は平成25年度の献血者数は、延べ2万43378人で、受入目標数の97・7パーセント（対前年度比9750人の減）となりました。台風や大雪の影響により献血協力が難しい状況もございましたが年間を通じ多くの皆さまにご協力いただき、輸血を必要とする患者さんに滞りなく血液をお届けすることが出来ました。

その中「社会福祉法人ロザリオの聖母会」様は、海上療養所を中心にご協力をいただき、34年間に延べ献血回数50回総献血者数1042人

の方に献血をご協力いただきました。平成25年度も34人の献血の参加で23人の献血協力をいただけてきて誠に有難うございました。今後も献血活動にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

最後に、患者さんの副作用発生の可能性は、より少ない人数の血液を輸血するほど低くなるため、医療機関からの要請の約90パーセントは400mL献血由来の血液となっております。また、患者さんにとってより安全な400mL献血にご協力をお願いいたします。



# 職員バレーボール大会

聖家族園 園長 中曽根才智

6月6日、「第19回創立記念職員バレーボール大会」が、ロザリオ体育館で参加6チームにより、行われました。

そもそも、職員バレーボール大会は創立記念行事として、スポーツを通じて職員の交流と親睦を深めるために平成7年から始まりました。

当初は「林家こん平杯卓球大会」や「ソフトボール大会」も開かれましたが、バレーボール大会が唯一残り今でも盛大に行われています。

今回のバレーボール大会は、ほとんどの対戦はフルセットまでもつれる熱戦でありました。結果は、最後まで粘った聖マリア園の連覇で終わりました。

各チームは数ヶ月前から練習にはげみ、技術的なレベルも上がりチームワークがよく、サーブやレシーブでの小さなミスがなくなり、それにより熱戦になったと思われま

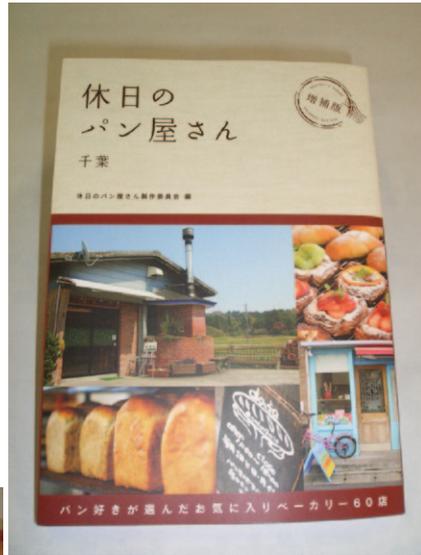


す。

聖マリア園の戦い方は第1セットを取られながらも挽回というパターンでした。決勝戦の佐原聖家族園戦でも第1セットを取られ、第2セットも相手にリードされた時点で今回も大活躍の大明選手の絶妙なタイムで流れが変わり、聖マリア園の連覇になりました。

さて、19回の内、優勝回数を調べると聖マリア園が最多の6回、海上寮と佐原聖家族園が5回と続いています。来年ほどのチームが優勝するでしょうか、今から楽しみです。結びに大会の開催に当たり、福利厚生センターの皆様を始め多くの職員の御協力ありがとうございました。

今年の三月ごろ「ぱんやさんの取材をさせてください。」と突然連絡が入り、どのような取材なのか聞いてみると「休日のパン屋さん」という本に是非のせたいとのことでした。「なぜうちのパンなのか??」と疑問に思いさらに聞いてみると、担当の者に聞いてみますとのことでした。後日、担当者より丁寧な文章で、口コミや消費者の情報をもとにお店を選ばせていただいているので、決して無作為に選んでいるわけではないということを聞き、正直驚きました。このような連絡を頂けるの



# 「ぱんやさん」グルメ誌に

みんなの家 石井幸一

も、日頃からみんなの家のパンをお買い求めいただいているお客様のおかげだと心より感謝し、利用者ともども、なお一層おいしいパンをつくり更に、お客様にご満足頂きたいと思えます。



# 佐原聖家族園のクッキー

佐原聖家族園 食品加工班

佐原聖家族園のクッキーがこの度、消費税の増税に伴い、増量と価格を見直しリニューアルしました。

たっぷり100g入って200円(税込)にて販売いたします。シューガー、ピーナッツサブレ、コーヒ、抹茶、ミックス(プレーン)。

ココア)の5種類、甘さ控えめで美味しさもアップしています。食品加工班が毎日の作業で頑張っている美味しいクッキーです。佐原聖家族園にお立ちの際は、ぜひご賞味ください。

その他、「風土村」「道の駅くりもと」、法人内のパン屋さんでも販売しております。

これまで同様、佐原聖家族園のクッキーお引き立ての程、よろしくお願いいたします。



連載 司祭の書斎より④

## 蛍火やわれ誘うか夏の夢

東京大司教区司祭 ロザリオの聖母会理事 吉川敦

夏を迎えた。今年も暑い予報を耳にした。

「美しい日本語の風景」の中で、中西進博士は、『なつ』とは、『あつ』（暑）と関係することは「ではないか」と言う。「暖かい『はる』、爽やかな『あき』、その中間に、農作物が熟れてゆく『なつ』がある。この季節に人間も熟れていかなければならない。太陽がぎらぎらと照る炎天下では、かえって勉強にはげもう。今でも林間学校、夏期講習などをするのは、夏休み中といえども勉強しようというのではなく、暑い夏にはげむ学習なのである。仏教徒には『夏安居』という修行がある。（淡交社P・106〜107H20）

博士のこの一文は、私にある夏の夜の出来事をよみがえらせてくれた。

毎年夏が来ると、教会では、この夏安居に相当する修行として、「夏期錬成会」を行ってきた。

今から22年前、「大自然に親しみ

神のご計画を考える」をテーマに、長野県は駒ヶ根で行った「夏期錬成会」での事である。その最終日に、よく頑張った子供たちへのご褒美に「蛍狩」が計画された。キャンプ場を出発したのは、夕闇迫る時刻だった。途中、平家の落人伝説のある集落近くの女子修道院に立ち寄った。シスター方にご挨拶して、子供たちの眠気を覚ました後、目的地に到着したのは、八時半を少し回った頃だった。こちら

の蛍はこの時間を過ぎると飛翔しなくなるという。辺りは暗闇につつまれ、静まりかえっていた。案内をして下さった地元の方は、無言のうちにしばらくごそごそと準備している様子だった。と、その時、田んぼ脇の大木めがけて、彼は自動車から強烈なライトを上下に振った後、点滅させたのである。すると蛍が次から次へと天から降るように、お出まし下さったのである。蛍には申し訳けなかつたが、寝入り端を襲われて

驚いたのか、狂ったように乱舞し始めるではないか。自動車や私たちのからだに、ぶつかって来るものもいて、びっくり仰天であった。

あの木は、話に聞く「蛍の木」だったのか。子供たちは暫はあつげにとられたのか声も出せなかつたが、やがて抱き合つて喜びをあらわにした。この乱舞する蛍火に幽かに映えた子供たちの横顔は、なんと美しい風情であつたことか。天然の闇の深さが演出する幻想的な光景が、私の脳裏に焼きついている。

私たちの見たあの木を、連想させるような句に出会った。

木の形変りし蘭や堂狩

高浜虚子

さて、今年も蛍の季節となった。ニュースに注意していると、長野県辰野町の「ほたる童謡公園」の様子が「幻想的な光の乱舞として」（朝日新聞6・18）報じられていた。私たちが以前、立ち寄った女子修道院は辰野を天竜川沿いに南へ下った位置にあるので、久しぶりに電話してみた。シスターは「もうあの光景はすっかり姿を消しました」とおっしゃる。「なぜ」とお聞きしたら、「過

疎化が進み、田んぼに側溝が出来て、蛍の棲息がむずかしくなってしまった」との事。「辰野町では蛍保護育成協力金が、ほたる童謡公園の入場料として徴収されている」とお聞きしていますと言つて電話を切られた。無念そうであつた。

別の情報によると、「辰野町の蛍は、他の場所で育てられた養殖蛍で、生態系を乱す問題の蛍だ」と言いきる研究者もいる。マスクミは、そこまで踏み込んではいないようだが……。

自然の里山の変貌が、あんなに高地の町にも及んでいるかと思うと脅威である。

今年の四月に刊行された「別冊NHK俳句もつと知りたいたい美しい季節のことば」の編者も、私と同じような心境で蛍を見守っていることを知った。

「むかしは河岸や田圃でふつうにみられた蛍も、棲息環境が破壊され、最近では蛍がみられるところまで蛍狩（蛍見）に行かなければならなくなりました。

私が見た最も印象深い蛍は、深吉野の清流の蛍です。点滅させたハザード・ランプで蛍を誘うと、ダイヤモンドのような大粒の蛍が

次々と現れました。『ほたるふぶき』の言葉のように、螢が吹雪いでおりました。

目を移せば、近くの田んぼには草螢が宿っています。螢の光に透ける草が、なにやら神々しかったことを、今でもはっきりおぼえています。

ほの白き空へあふるる螢かな

浦川聡子 (P・43)

この句を私は、山河に螢があふれていた時代へのオマージュとして受け取った。

現在、日本には「約50種、千葉県では8種の螢が報告されている」(朝日朝刊6・25)という。シーズンを迎えている今、螢の情報が少なすぎるのが気に掛ける。子供たちの心に新鮮な驚きを体験させてくれる機会が失われていくことを惜しむ。

しかし、嘆いてばかりはいられない。私が愚考するに、螢が日本の里山にあたり前のように棲息していた時代を知っている世代の証言が大切なのだと思っている。

日本の螢に関する言葉は実に豊かだ。「初螢・螢見・螢狩・螢舟・螢川・螢沢・螢籠・大螢・源氏螢・平家螢・一寸螢・姫螢・宇治螢・

石山螢・守山螢・御幸螢・見沼螢・山螢・草螢・螢合戦・螢火・虚無僧螢・海辺螢・旅螢・螢能・螢売・螢茶屋・螢提燈・螢採・青螢・朝螢・昼螢・夕螢・宵螢・螢の木」これでも全部ではない。

ホタルの仲間は世界に2千種以上いるそうだが、日本の螢ほど人間とのつき合いを密にしてきたものはない。その証拠が螢を語る日本語の多さだ。自然の棲息環境が失われてその数を減らせているというのなら、せめて文化の中での出会いを求めていきたい。

これから千年前の平安時代の螢を見に行こう。「自然」の中には不可能でも、「文学」の中の螢にならその出会いは可能ではないか。「清少納言は『枕草子』の冒頭の『春はあけぼの』に続く一文として、『夏は夜。月のころはさらなり、闇もなほ、螢の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし』として闇夜に浮かぶ螢を愛でている。青白い螢の明滅は深い闇があつてこそ、より美しいもの。

螢火の明滅滅の深かりき

細見綾子

さらに清少納言は、『雨など降

るもをかし』としめやかな雨の中にほの見える螢(雨の螢)を愛でている。

螢は雨が降った後、湿度の高い雲天の日に現れることが多いと言われているからであろうか。(浦川聡子) (前掲書P・43)

また、清少納言と並んで、平安の世を代表する才女紫式部は、「源氏物語」第25帖「螢」の巻で、螢を印象深く登場させている。

「玉鬘たまむすねが、あれこれ長々と螢宮が訴える言葉への返事をしないままにためらっていると光源氏が近寄って、几帳きちやうの帷子かたびらを一枚ふと横木にかけて同時に、ぼつと光るものが――玉鬘は紙燭しやくを差し出したのかと驚きます。なんと薄い帷子の中に、夕方たくさん捕って光を漏らさないように包んで隠しておいた螢を、何けないそぶりで放ったのです。いきなり明るく光で照らされて、驚いた玉鬘が扇で隠すその横顔は、いかにも美しい風情です。」(橋本ゆかり訳「週間絵巻で楽しむ源氏物語二十五帖『螢』」P・11朝日新聞出版局2012)

ところで、私の従来お粗末な読み方では、この箇所は物語だから

おゝげさに表現されているぐらいにしか受け取ってこなかったのである。

しかし、あの夏の圧倒的な目撃体験は、物語作者の生きた時代環境に即して考える読み方に、私を変えさせてくれたのである。

清少納言の「枕草子」でいう「多く」と「一つ二つ」の描き方の対比も、あの時代の闇夜を背景にしたおびたらしい螢の飛びちがいを日々体感していた作者の於かれた状況に、思いを馳せるのである。名文になればなるほど「眼光紙背に徹する」読みが、求められることに気づくのである。

源氏物語や枕草子に「螢」が登場してから千年。つい22年前まで少くとも伊那谷地方には、あの物語の時代のように無数の螢が生き続けてきたのだ。それが、今年ももうその棲息域を大中に狭めていることが確認されたと申し上げた。

ご存知の通り「文化」の定義は「人間が自然に手を加えて(「耕して」)形成してきた物心両面の成果」のことだが、紫式部や清少納言は彼女たちの生きた時代の自然に手を加え、即ち螢という自然

の生き物を心に読み込んで物語やエッセイに紡いだ。その際には、蛍という不思議な生き物をよくよく観察した筈である。当時、その蛍はどれほどの群生状態で乱舞が見られたことか。そんな光景を想像する現代人は、どれだけいるだろうかと思っただのである。

文学や芸術の力は悔りがたいと思っている。

豊かな自然の風土が、豊かな文化の源泉であると同時に、環境破壊を食い止める力も、豊かに熟した文化なら、その中に育んできたにちがいない。

時あたかも、富士山の世界文化遺産の登録の名称が「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」だったことがうれしい。

ユネスコ（国連教育科学文化機関）によって高く評価された「信仰と芸術」が「景観の神聖さと美しさ」及び「環境保全の取り組み」への動機づけになったことは、特筆すべきことである。

文化の持つ力を生かして、自然の再生を計ることは夢なのだろうか。夢ではないと信じた。

しかし、この夢実現には大きな障害がある。それは、日本の識者

の多くが「経済が成長してゆけば、格差社会は解消され、環境保全への投資も増える」と信じて疑わないからである。

実際はその逆が現実である。経済成長政策こそが格差社会を生む原因であり、環境破壊のもとであるというのが、過去のデータから証明されているとしたら、どうなるのだろうか。

セルジュー・ラトウーシユは「脱成長」への道こそが、問題解決の処方箋であるという。「経済の規模を徐々に小さくすることで消費を抑制。本場に必要なものだけを消費することで真の幸せにつなげ」（朝日・夕刊2013.6.4）ることは夢だろうか。

日本人はかつて『もったいない』精神を持ち、生態系と共存してきた歴史をもっている。そんな文化力を持った社会を取り戻せたときには、蛍も里山に満ちるにちがいない。

蛍は叫ぶだろう。「日本の水は甘いぞ」と。「甘い水」とは「清い水」のことではないだろうか。

蛍火よ未来を拓け夢遙か

## 《職員募集のお知らせ》

ロザリオの聖母会では、「光のあたりにくい人々とともに歩む」という経営理念の下、多様な福祉サービスを総合的に提供できるよう、複合施設を経営するとともに、地域生活支援のため訪問、相談サービス事業等も実施し、利用者の豊かな地域生活を支援するよう努めています。職員の福利厚生、研修、育児介護休業制度等働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

### □平成27年4月新卒職員募集

#### 職場説明会開催

期日 8/1（金） 午後1時～（午後12時30分受付開始）

- ・法人概要説明、施設見学、希望者は面接可（詳しくはHPをご覧ください）
- ・既卒3年以内の応募可能
- ・高校生の面接については、9月16日の選考開始以降に学校を通じて行います。

職種	事業所	採用数	資格
看護師	聖母療育園	若干名	看護師免許
支援員	障害者支援施設	15名	短大専門卒以上 普通運転免許
		2名	高等学校卒

#### □障害児者医療に携わる看護師も随時募集中！

- ・応募 随時面接を行っておりますので、本部総務課までご連絡ください。

0479-60-0600 （担当 / 採用係）



秋山茂樹様  
 小原謙二様  
 嶋倉昭男様  
 カトリック豊四季教会様  
 吉田佳代子様  
 大関節子様  
 吉田和子様  
 外口静子様  
 (有)旭家政婦紹介所様  
 松本平八郎様  
 泉川伸子様  
 千代原千嘉様  
 吉川吉勝様  
 若井一廣様  
 保科礼子様  
 難波桃子様  
 伊藤堯貫様  
 (株)石川商会様  
 大畑忠啓様  
 市川美智子様  
 玉造美佐江様  
 (株)東基様  
 穂田三千子様  
 篠塚弘作様  
 斉藤都様  
 武田昭一様  
 カトリック福音史家  
 聖ヨハネ布教修道会様  
 清水美和子様  
 柴田美和子様  
 石井工業(株)  
 代表取締役 石井良典様  
 伊藤武夫様  
 堀越貢様  
 山口石材店様  
 川島鉄也様  
 高橋延廣様  
 飯田聡様  
 あまさげや旭(株)  
 網中光一様  
 片野よし様

大屋滋様  
 ちば醤油(株)  
 代表取締役社長 山本一郎様  
 田丸房江様  
 土屋和夫様  
 パラメディカル(株)様  
 林浩毅様  
 阿部博様  
 西山博様  
 スズキメタル(株)様  
 高木鮮魚店 高木初子様  
 鎌形久様  
 石毛滋樹様  
 小島八重子様  
 徳丸文夫様  
 奥田徹様  
 チバアス建材(株)様  
 竹蓋伸六様  
 青木あつ子様  
 宇野澤富男様  
 宮本宏子様  
 増子紘次様  
 黒田勝次様  
 柴田幸雄様  
 保脇邦夫様  
 前田忠勝様  
 町田治子様  
 八日市場瓦斯(株)様  
 三賢憲治様  
 太田恭子様  
 松崎圭子様  
 加藤伸雄様  
 小柳猛様  
 吉田政男様  
 山本真寛様  
 笹本一男様  
 小嶋卓様  
 堀嶋美世子様  
 大塚恵様  
 八木理之様

宮内賢一様  
 田辺弘子様  
 西田泰子様  
 太田義人様  
 服部紘一様  
 菅谷敏博様  
 塚本瑞紀様  
 寺嶋光希様  
 高木啓子様  
 藤田正江様  
 飯島正美様  
 尾形佳昭様  
 石川善昭様  
 守部泰久様  
 外口晴久様  
 小澤さわ子様  
 三浦富夫様  
 八本明様  
 神津剛夫様  
 實川毅様  
 安原包夫様  
 青柳泰亘様  
 鶴沢建設(株)様  
 関塚充恵様  
 サザエ 向後由江様  
 江上久子様  
 名雪真理子様  
 君塚菊五郎様  
 市来満里子様  
 (有)黄鶴様  
 代表取締役 高橋聡様  
 金岩哲哉様  
 伊藤信勝様  
 (株)房給様  
 (株)マンツーマンアカデミー様  
 小関邦夫様  
 いしみ歯科医院様  
 椿進様  
 伊藤貴範様  
 銚子メデイクス(株)  
 フタバ薬局 介護事業部様

林俊介様  
 花沢商店様  
 大野柳三様  
 阿部建設(株)様  
 三菱電機ビルテクノサービス(株)  
 成田営業所様  
 藤原直紀様  
 西山利文様  
 大橋雄高様  
 本田ひで子様  
 嶋田相一様  
 高塚洋勝様  
 吉成豪夫様  
 工藤玲子様  
 高根光子様  
 安田富子様  
 あさひこひつじ幼稚園様  
 鈴木教義様  
 芳賀信雄様  
 越川隆史様  
 (有)片山肉店様  
 カトリック松戸教会  
 コスモスの会様  
 石田和人様  
 池田真人様  
 長谷川毅様  
 向後江江様  
 五十嵐利行様  
 滑川利子様  
 林とめ子様  
 平和堂薬局様  
 堀越武夫様  
 斉藤敏子様  
 小森良一様  
 小宮和彦様  
 土屋武様  
 小宮和彦様  
 中田真司様  
 相澤多喜寿様  
 松崎正様  
 飯田正様  
 落合福蔵様

菅井唯路様  
 梶谷文子様  
 小井京子様  
 荒井功様  
 渡邊茂男様  
 浦野公明様  
 日向三喜男様  
 日藤澄江様  
 佐藤つぎ江様  
 田上江江様  
 才賀和紘様  
 外岡米治様  
 村岡治様  
 大塚啓子様  
 中村萬紀子様  
 竹下文和様  
 秋山世以子様  
 根本智氏様  
 根村富士雄様  
 田村昭彦様  
 滝口昭彦様  
 (株)大門商店様  
 林明美様  
 成毛茂様  
 平野平様  
 森正美様  
 青木秀夫様  
 中曾根保子様  
 (有)竹屋様  
 芳賀博子様  
 鈴木光子様  
 (株)小野寺工業様  
 林恵子様  
 安藤裕美様  
 小林キクノ様  
 小川礼乃様  
 吉川礼乃様  
 加藤金松様  
 大胡雅巳様  
 吉田達夫様  
 山口広様  
 梅室知子様  
 江波戸勲様  
 日高好規様

福富道子様  
 荒井のり子様  
 鷺山春治様  
 加藤新造様  
 伊藤緑様  
 鎌形勝夫様  
 田辺正晴様  
 大関喜市様  
 星野豊和様  
 飯岡徳子様  
 金島正明様  
 板井真人様  
 宮澤均様  
 大木貴恵様  
 鈴木淳彦様  
 澤野利彦様  
 飯田利昇様  
 藤原利枝子様  
 小川眞己子様  
 川口かね子様  
 笠島努様  
 風間誠様  
 あさみか会長 鈴木たえ様  
 市川美智子様  
 吉川礼乃様  
 松本朋子様  
 辻岡紀美子様  
 土屋和夫様  
 谷裕世様  
 松原智恵子様  
 吉田睦様  
 (株)国際エーアールジ  
 代表取締役社長 大山吉男様  
 鈴木洋志様  
 千葉興業銀行様  
 櫻井ふく様  
 風間誠明子様  
 飯島公子様  
 諸橋信雄様  
 金岩哲哉様



春一番V!



お花見行ってきました。イエイ!!



天気が良くて気持ちいい~♪

★聖家族作業所★

成田・航空博物館へ行ってきました。



★みんなの家★

もう

焼けたかなー?



俺のだよ!



★聖マリア園★



ポッチャ楽しんでます。

海ホタルにて、旅行楽しんでます。



オセロ大会優勝しました。

### 新任者紹介

聖ヨセつどいの家



支援員

井橋 貴代  
いつも笑顔で明るい印象を受けます。利用者にも優しく接してくれています。初心を忘れず、利用者の気持ちのわかる職員になってほしいです。

佐原聖家族園



調理員

五木田 栄美子  
趣味はジムで体を動かすこと。仕事をテキパキこなす、心強い存在です。

サービスセンター・ローザ



支援員

伊藤 美佐子  
6月より勤務しております伊藤です。失敗もあると思いますが、職員の皆さまの力になれるようそして、利用者さんが笑顔でいられるよう頑張りたいと思います。

聖マリア園



支援員

岩井 卓也  
釣りなどアウトドアな趣味を持つ岩井さん。勤務態度もまじめで明るく、今後の活躍に期待します。よろしくお願いします。

海上寮療養所



作業療法士

成澤 雅高  
これから沢山のことを学んで、皆さんの力になれるように、頑張ります。よろしくお願いします。



作業療法士

越川 典哉  
利用する方、一人ひとりのお力になれるよう精一杯努力したいと思えます。よろしくお願いします。

